

令和7年度 第4回三鷹市スポーツ推進審議会 会議要旨

開催日	令和8年2月13日（金曜日）	時間	15:30～17:00
会場	三鷹市生涯学習センター3階 学習室1 (オンライン併用)	傍聴人数	0人
出席者	助友委員、吉田委員、苔口委員、安中委員、屋敷委員、鈴木委員、相原委員、牛山委員、寺田委員、坂下委員、溝口委員		
欠席者	國澤委員、高柳委員、大鶴委員		
行政	大朝スポーツと文化部長、平山スポーツと文化調整担当部長、市橋スポーツ推進担当課長、福田スポーツ推進課主査、山口スポーツ推進課主事		
内容	<p>1 開会あいさつ（助友会長）</p> <p>2 開会（事務局）</p> <p>(1) 委員出席状況について 委員の出席状況は、委員定数14人のうち11人の出席により、委員の過半数が出席し、定足数に達していることから、本日のスポーツ推進審議会は有効に成立している。</p> <p>(2) 傍聴希望について 市民会議、審議会等の傍聴は、「三鷹市市民会議、審議会等の会議の公開に関する条例」に基づき、原則として公開している。本日は、現時点で傍聴の希望はないが、希望があった場合、条例に基づき入場いただく。</p> <p>(3) 会議録の作成と公開について 三鷹市の市民会議、審議会等では、会議録を要録として作成し、公開している。会議の内容を録音し、会議録の原案を出席委員に確認のうえ、市のホームページと総務部相談・情報課にて公開を行う。</p> <p>3 議題に係る各委員からの意見等</p> <p>(1) 三鷹市スポーツ施設条例の一部改正について</p> <p>(2) 令和8年度の主な事業について</p> <p>鈴木委員：三鷹市条例改正の(1)定義について、個人使用と市民、市民以外の違いはどのような枠組みになっているのか。市民は個人ではないのか、その違いを教えてほしい。また、タッタカくんアプリの育成機能について、追加することで登録者がどの程度増えるのか、これまで使っていない人が利用するようになるのかを知りたい。</p> <p>平山調整担当部長：条例の定義については、市民と市民以外は主に三鷹市内に住所があるか、他市区町村に住所があるかの違いである。個人使用の場合も、主に市内在住か市外在住かで料金が異なるため分類している。団体使用の場合は、市内団体か市外団体かで料金が変わるため、その判断基準として市民か市民以外かで分類している。市内団体は3か月前の抽選予約と、終了後2か月前からの先着予約が可能であり、市外団体は1か月前からの先着予約となる。</p> <p style="text-align: center;">「タッタカくん！ウオーク&ラン」アプリについては、現在約5,000件</p>		

内 容	<p>の登録があり、目標は1万件であるが、育成機能追加による増加数の予測は難しい。ただし、みたか地域ポイントとの連携により1年に約1,000件増えており、これを下回らないよう取り組みたい。次年度の改修費は約300万円を見込んでいる。</p> <p>大朝部長：条例の定義について補足すると、資料は条例の抜粋であり、本文全体を確認すれば疑問は生じにくいと思われる。施設利用者の属性を明確にするために定義しているものである。また、個人使用については、これまでテニスコートは団体のみ貸切使用が可能であったが、今回の改正により個人でも可能となる。</p> <p>安中委員：現在開催中のオリンピックや来月からのWBCで盛り上がっているが、パラリンピックにもぜひ注目してほしい。自身が関わっていたパラアイスホッケーも、前回の北京大会は出場できなかったが、今回は若手も加わり2大会ぶりに出場できるため観戦してほしい。</p> <p>「タッタカくん！ウオーク&ラン」アプリの改修について、例えばアプリ内に「三鷹体操」ボタンを設け、YouTubeと連携して動画を見られる機能を追加してはどうか。自身も体操動画を見ながら運動しており、見たい時に見られる機能は需要があると思う。また、使用制限の項目で「使用料滞納」があるが、滞納期間を設けるのではなく、そもそも未払いが発生しない仕組みにできないか。</p> <p>市橋担当課長：三鷹体操ボタンの追加については担当者と共有する。使用料滞納については、基本的に多くの利用者の支払いは正常に行われているが、口座振替の残高不足などで引き落としできず、連絡しても対応がない場合に発生するケースである。</p> <p>吉田委員：大沢総合グラウンドに新設される3つのエリアのうち、ボール遊びエリアはどのような利用を想定しているのか。公園でキャッチボールできる場所が少ないため、サッカーやキャッチボールができるのか確認したい。</p> <p>平山調整担当部長：サッカーボールや軟式野球ボールの使用は可能である。ただし、バットや硬球の使用は禁止としている。</p> <p>相原委員：「タッタカくん！ウオーク&ラン」アプリのターゲット年代や運動レベルはどの程度を想定しているのか。また、育成機能追加については、新規登録者を増やすことが目的なのか、既存利用者の継続を重視しているのか教えてほしい。</p> <p>平山調整担当：本アプリの対象は幅広く、特定の層に限定していない。みたか地域ポイントと連携しているため、幅広い層に利用してもらいたいと考えている。育成機能は新規獲得と既存利用者の継続の両方に効果があると考えている。既存利用者に育成機能としての新たな魅力として、新規利用者には育成機能もあるゲームとして関心をもっといただくことを期待している。委員の皆様から年代別のアイデアや助言もいただきたい。また、三鷹体操やラジオ体操について、自主的に活動している市民グループなどもあり、人数は多くないが着実に増えている。そういった団体の方と連携しながら、着実に1グループずつ増やしていきたい。</p> <p>相原委員：「タッタカくん！ウオーク&ラン」アプリ効果の検証として、登録者数</p>
-----	---

内 容	<p>の推移や継続利用者のデータがあれば提示してほしい。</p> <p>助友会長：三鷹市の委託事業として本学が「タッタカくん！ウオーク&ラン」アプリ利用者データを分析し、性別・年代別の登録状況や継続率などをまとめた資料がある。公表はしていないが、機会があれば共有してほしい。</p> <p>溝口委員：機能追加は目的を明確にすることが重要である。育成を楽しむこと自体を目的にすると難しい。キャラクターの魅力が十分でなければ続かないためである。運動促進や市のスポーツ施策の周知につながる改修にすべきである。何のために育成機能を追加するのか業者の方と要件定義等をしっかりと行ったほうがよい。</p> <p>助友会長：新機能の追加は、新規登録数の増加を1番の目的とすべきと受け止めてよいか。</p> <p>溝口委員：既存利用者の継続を重視するのか、新規獲得を重視するのかで改修内容は変わってくる。予算内で全てを満たすのは難しいと思われるため、優先順位を明確にすることが何よりも重要である。</p> <p>平山調整担当：先ほどお話のありました本アプリの分析資料のほか、これまでの利用者アンケートの結果を踏まえ、育成機能のあり方をあらためて整理したい。</p> <p>(3) 令和8年度市民満足度調査と成果指標について</p> <p>安中委員：東京都が同様の調査を実施しているのであれば、三鷹市の回答データを東京都から提供してもらえれば独自の調査を行わなくてもよいのではないかと。</p> <p>平山調整担当：東京都の調査は、標本数が都内全体で4,000人となっており、三鷹市民の回答数は非常に少ないと推測される。そのため、独自調査を行うことで、三鷹市としての政策成果等を確認することができると考える。市では15歳以上3,500人を無作為抽出する予定である。</p> <p>寺田副会長：近隣市のスポーツ実施率の違いは、質問内容の違いによるものなのか。</p> <p>大朝部長：三鷹市の調査は、経年比較ができるようこれまで一定の期間で設問の内容をあまり変えてこなかった。スポーツの定義は設問の中で記載していたが、国・東京都やその他の各自治体はスポーツを細分化して具体的な事例を設問として提示し、スポーツ実施率を調査している。武蔵野市や調布市など近隣の自治体も、自分が行っているスポーツや運動を選択してもらったうえで、スポーツの実施頻度を問う形としている。この調査は、意識調査であり主観的判断となるが、回答を通じ自己認識と私たちが問うているスポーツが一致することが望ましいと考えている。</p> <p>鈴木委員：スポーツ実施率が高い自治体は、日常的活動が含まれているためではないかと。また、東京都と全く同じ調査項目にするのではなく、東京都の調査結果を踏まえた選択肢を検討するのが望ましいと思う。例えば、働く女性が子どもの送迎で自転車を使うことなども運動として含められないか。</p> <p>助友会長：独自項目も良いと思うが、東京都との比較性の部分はどのように考えるか。</p> <p>吉田委員：具体例の提示は回答者本人の気付きにもつながる。生活様式の変化も踏まえ、設問追加を検討してみてはどうか。</p> <p>鈴木委員：東京都設問以外の市独自項目を追加したとしても、東京都にない設問を</p>
-----	---

内 容	<p>除いて集計ができれば、東京都調査との比較も可能であると考える。</p> <p>寺田委員：本人が自主的に意識を持って行っているか、健康目的かどうかで分類が変わる。そのため、スポーツの定義をどう聞かかが重要である。目的意識の有無で分類し、両方を把握できる設計が望ましい。</p> <p>大朝部長：現状は東京都と同様の設問を基本としているが、独自設問を追加するかどうかは検討したい。偶発的活動をスポーツと捉えるかは、あらためて整理が必要であると考え。散歩でも健康目的かどうかを問うなど、設問設計を検討していく。</p> <p>助友会長：市独自設問と東京都調査との比較バランスについて意見を伺いたい。</p> <p>溝口委員：まずは、調査目的を明確にすることが重要である。市として東京都と比較することが重要であると考えているならば、そのように設計すべきである。満足度を重視するなら設問案③「この1年間に、スポーツや運動を実施しなかった、又は実施した頻度が週に1日に満たなかったのはどのような理由からですか（○は幾つでも）」を入れるべきだし、施策への反映を重視するなら設問案④「今後どのようなスポーツ・運動であれば（より頻繁に）行える可能性がありますか（○は幾つでも）」を入れるべきである。</p> <p>助友委員：事務局として、改めて調査の改定案の経緯と目的を説明してほしい。</p> <p>平山調整担当部長：「年に何回スポーツをしますか？」というこれまでの聞き方だと、スポーツの定義に関して回答者との認識にズレが生じている可能性があった。東京都や他自治体の事例に倣い、スポーツや運動を選ぶ選択式設問を導入することで、市側が意図するスポーツや運動のイメージを回答者と共有し、市民の皆様の運動促進に関してより精度の高いヒントを得ることを目的としている。</p> <p>鈴木委員：ペットの散歩などを含めないと実施率が低く出る可能性がある。選択肢の追加は、事務局で検討してほしい。</p> <p>助友会長：今後、選択肢の細かい調整・再検討はあると思うが、スポーツ実施率をより正確に把握・比較するために、基本的には東京都の調査項目に合わせる方向でいければと考える。提示された4つの設問案のうち、「設問案3」を除外した3つの設問を採用し、本会議としての最終案としたい。</p> <p>4 報告</p> <p>(1) 事業予定</p> <p>2月15日(日) JAPAN RUGBY LEAGUE ONE 2025-26 (東芝ブレイブルーパス東京戦市民招待観戦バスツアー)</p> <p>19日(木) 小学校校庭開放説明会 牟礼コミュニティ・センター</p> <p>20日(金) 小学校校庭開放説明会 大沢コミュニティ・センター 新川中原コミュニティ・センター</p> <p>22日(日) 東京サントリーサンゴリアス戦市民招待観戦バスツアー</p> <p>25日(水) 小学校校庭開放説明会</p>
-----	---

連雀コミュニティ・センター

(2) スポーツ推進審議会日程

第1回 令和8年4月24日(金) 午後3時30分

5 閉会あいさつ(寺田副会長)